

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 18	道路施設管理事業	☐ 法定受託事務	
所管課	都市整備部 道路河川管理課		評価者 道路河川管理課長 秋山 崇	
一般	会計	款 45	項 5	目 5
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備	施策の方針名	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	道路機能を良好に保持するため
効果	多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	道路施設の修繕・維持管理	道路施設の修繕・維持管理	道路施設の修繕・維持管理
予算額（千円）	100,024	135,505	
国県支出金			
地方債			
その他	100,015	129,855	
一般財源	9	5,650	0
当初人員配置数	5.0	4.0	0.0
人件費（千円）	35,529	27,964	0
事業実績	道路施設の修繕・維持管理		
決算額（千円）	86,002		
国県支出金			
地方債			
その他	86,002		
一般財源	0	0	0
人員配置実績数	5.0	0.0	0.0
人件費（千円）	34,513	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名 道路管理（市道内の樹木伐採）に関する市民要望件数	%	27	㇏	45		
	実績につながる活動 市民要望に基づき支障となっている市道内の樹木を伐採し、市道の通行の安全性を確保した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・市民要望に基づく市道樹木の伐採をスピード感を持って実施した。 ・一方で、伐採対象の優先順位の判断や現地確認など、調整事項により、対応までに時間を要する場面があった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	道路管理（市道内の樹木伐採）に関する市民要望に対する対応率（作業センター対応分除く）	%	79.4	7	81.8			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.1について、令和7年度の対応率は81.8%であり、限られた予算の中で迅速に対応し、歩行者や車両運転者に対する通行上の安全性及び快適性を確保した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・市道樹木の伐採要望については、年度によりばらつきはあるが、令和7年度は55件と直近3年間で最も多い件数となった。対応率については、81.8%にとどまり、伐採対象の優先順位の判断や現地確認といった課題解決に時間を要したことが一要因と考える。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有 効 性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出していない
	効 率 性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
	公 平 性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	■ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す → □ 拡大 □ 縮小 □ その他 □ ③ 事業は休止又は廃止する □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持 □ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ① 予算規模は現状維持とする □ ② 予算規模は拡大する □ ③ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）		課題への対応	結果	具体的な内容	
		前年度の新たな課題への対応結果	解決	土日祝日における市民からの道路管理に関する通報に即座に対応するため、令和7年度(令和8年1月)から、通報受付、現地確認及び現場対応を外部委託した。	
		活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	平日夜間の道路管理に関する通報に対応するため、予算措置及び委託先業者の選定を検討する。	
		新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性あり	将来的には、適切な道路管理体制を構築し、市民要望に対して迅速に対応するため、道路包括による道路管理の実現を目指す。	
	総評	・道路管理（市道内の樹木伐採）に関する市民要望については、道路管理瑕疵につながる恐れもあることから、迅速に対応しているが、伐採対象の優先順位の判断や現地確認などの課題もあり、さらなる解決に注力する必要がある。 ・また、令和7年度（令和8年1月）から、土日祝日の道路管理に関する通報に対して、迅速に現場対応するため、地元事業者への委託を実施している。今後は、平日夜間への実施拡大や将来的には道路包括の実施による管理体制の構築を目指す。			
	上位施策への寄与度				
	A				

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	道路延長は自治体によって差異があるほか、道路が直面する諸課題も多様であることから、他市との比較はなじまない。
----------------------	--